



↑「かつら」の機能回復訓練室  
さまざまな器具が備え付  
けられ、身体機能の回復  
に使われています

「かみやま」の本格的な稼働開始に先立って行われた利用者へのお年寄りたちの間から「いいところだな」「百までも生きなきゃな」という会話が聞こえ、ほがらかな笑い声があふれていました。

三つのデイサービスセンターはいずれも、おおむね六十五歳以上の人で、体が弱いか、ねたきりとかで生活に支障がある人、ひとり暮らしの人、またその家族などにご利用いただける施設で、入浴、給食、機能

● ショートステイ事業

ねたきりや痴呆性のお年寄りの世話をしている家族が、病気、冠婚葬祭、出産、旅行などのために一時的に世話ができないとき、老人ホームでお世話します。

利用料・1日2,060円 ※原則として7日以内です

● ホームヘルパー派遣事業

ひとり暮らしやねたきりなどのお年寄りがいる家庭へ、介護や家事援助、身の回りの世話をしたり、相談にのったりするヘルパーを派遣します。

利用料・所得に応じて負担額が決められます

四年に総合福祉センター内に開設された「かつら」に続き、市で三つ目のデイサービスセンター「かみやま」が、今日一日にオープンしました。

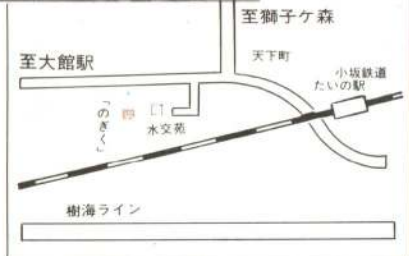
「かみやま」は花岡町神山にある特別養護老人ホーム「神山荘」の隣に建てられ、延べ床面積は約五百七十平方メートル。浴室、食堂、日常動作訓練室、介護者教育室などが設けられています。各部屋は可動間仕切り式で、幅広い廊下、天井の明かり取りと、全体的にゆったりとした明るい空間が広がっています。

訓練、健康チェックなどのサービスをするほか、ねたきりのお年寄りなどのお世話をしている人のための介護者教室も開いています。利用時間は午前九時から午後四時まで、利用回数は一週間(月曜日から金曜日まで)に一人一回、利用料金は一日五百円です。また、ワゴン車やリフト付きバスなども用意し、利用する皆さんを朝夕送り迎えする送迎サービスも実施しています。

ただし、一日にセンターが受け入れられる人数は十五人から二十人程度です。「のぎく」が長木・釈迦内地区を、「かみやま」が花岡・矢立地区をほぼカバーできたとしても、残るは「かつら」一つ。市内全域の需要に



『のぎく』  
下代野字中道南36-1  
☎48-6600



『かつら』  
字三の丸103-4  
☎49-3111  
(内線406)



こたえるにはまだ十分ではありません。市では、国の整備方針をもとに、将来的には全部で七つの設置を目指しています。

神山荘も水交苑同様、すでにショートステイ(在宅老人短期入所)事業とホームヘルパー(家庭奉仕員)派遣事業を実施していますから、今回デイサービスセンターができたことで、施設短期入所型、家庭訪問型、施設通所型という福祉サービスの三本柱が整ったことになりました。

「かみやま」では「これらそれぞれの長所を総合的に考え、

身近な施設として  
ご利用ください

組み合わせ、サービスを受けやすくしていきたいですね。共稼ぎなどで、毎日でもサービスを受けたい家庭もあるでしょうし、利用者からは利用回数を増やしてほしいという声もあります。そうした要望・地域ニーズに柔軟に対応していければと考えています」と話しています。

デイサービスセンターは、利用する本人に楽しく・気分よく過ごしてもらい、その家族には時間的・身体的負担を少しでも減らしてもらうための施設です。どうぞ気軽にご利用ください。

利用のお申し込み・問い合わせは、福祉事務所(☎49-3111・内線406)か直接センターへどうぞ